整理番号
 HT30232
 分野
 生物
 キーワード
 (キーワード) 遺伝子, DNA鑑定 ニワトリ, 雌雄判別, 解剖

研究機関名	広島大学					
プログラム名	オスとメスを自分の目で観て、DNA 鑑定で診る					
	~ニワトリ胚を使って~					
先生	<b>西堀正英</b> (にしぼりまさひで)					
(代表者)						
自己紹介	9 -12 - 30					
	進化と遺伝子の発現やその機能を解析することです。特に					
	野生のニワトリ(ヤケイ:野鶏と言います)やイノシシから家畜					NABAY.
	(家禽)のニワトリやブタまでの歴史について DNA 情報を用い					
	て明らかにしようと奮闘し、また	ニワトリのホ	起源やイノシミ	ノやラ	2	
	クダの家畜化の過程を明らかに	こするため	に、ラオス、タ	イ、カ		
	ンボジア、ミャンマー、ブータン	, フィリピン	/, インドネシブ	ア(アジ		
	ア各国)からモンゴル, カザフス	タン(中央	アジア)を旅し	てい	1	
	ろいろなニワトリ,イノシシ,ラクダや家畜に会ってきました。					
	遺伝子の研究だけではなく、ニワトリ、イノシシ、ラクダや家畜					
	に関する文化人類学的研究をされている先生方にもお会い					
	して直接お話いただけました。大学での研究、授業や講演					
	会などを通し、これまで培ってきた研究の話題をネタに人と					
	のコミュニケーションを楽しんでいます。今年のひらめき☆と					
	きめきサイエンスの実施は <b>連続11年目</b> になります。これまで					
	多くの皆さんが生き物を、生き物から多くのことを学んでくれ					
	ました。今年のひらめき☆ときめきサイエンスでも皆さんに会					
	えることが楽しみにしています。					
開催日時・		受 講	高校生(保護	者∙教	募集	50 名
募集対象	平成30年10月28日(日)	対象者	員•見学歓迎)	意欲あ	人数	中学生は <b>10 名</b> 程度
			る中学生も可			
集 合 場 所 • 時 間	広島大学生物生産学部 2F ロビー (集合時間) <b>午前 9 時</b> (9 時 45 分開始)					
	広島大学生物生産学部 C206 講義室・学生実験室					
開催会場	住所:〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4					
	アクセスマップ:http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei/access/index.html					
内 容						
本企画では、動物の多様性を遺伝子(DNA)の多型から検出することにより						

本企画では、動物の多様性を遺伝子(DNA)の多型から検出することにより、 それが機能等の変化に繋がっていることを実験を通して実感してもらうとともに、 その実感を参加者全員でプレゼンテーション(結果を発表)、議論を通した全員 参加型のプログラムとして実施します。一見糸くずのような化学物質であるDNA



には豊富な情報が蓄積され、これが個体毎に違っていて、その情報をもとに生物がコントロールされている様子、その正確さ、情報量の多さについて、遺伝、遺伝子研究の魅力、おもしろさ、一方ではその不思議を受講生に伝えるとともに、サイエンスをするおもしろさを実感してもらいながら伝えていきたいと考えています。実験の前の講義では、普段何気なく見ているものでも気にしないと見過ごしていることが多いことを実際に動物の絵を描いてもらうことで認識してもらいます。サイエンスの楽しさ、おもしろさを研究者が講義することで、受講者のモチベーションを向上させます。興味心が向上したところで、本プログラムでは二ワトリ胚を解剖して生殖器を観察(表現型)し、その個体の DNA から雌雄判別(遺伝子型)を実験的に実感します。本プログラムで得られた結果を指導は生物生産学部・研究者養成特別コースの

大学生とともに考え、その成果をプレゼンテーションすることで、受講生自身ならびに参加者全員が鍛えられます。自分自身が解剖したニワトリのサンプルを扱うことでさらに知的好奇心が高まり、実感し、遺伝子(DNA)への関心および興味は強いものとなります。参加者全員で一日サイエンスとその話題でカフェをし、楽しさを共有しましょう!実習の会場は、広島大学生物生産学部講義室ならびに学生実験室を使用します。なお、この学生実験室は、2年1回、日本生物学オリンピック2次試験会場として整備した会場であり、この実験室を使って実施します。

	持 ち物	
時間	内容	筆記用具・持って
09:00~09:45	開場、受付(生物生産学部2階ロビーにて)開始。	いる人は実験着
	開始時間まで広島大学博物館サテライト館の見学(自由参加)	(白衣など)
09:45~09:55	挨拶(学部長):生物生産学部 C206 講義室	・カメラ
	【オリエンテーション】(科研費とは,プログラムの説明,	特記事項
09:55~10:10	   スケジュール, 研究者, TA, SA 等の紹介)	保護者ならび高
10:10~10:30	本日の【TAによる実習内容の説明】	等学校の先生方
		の参観・参加を大
10:30~10:40	【休憩】 (雑談を交えた研究者との交流の時間)	歓迎します。ま
10:40~12:05	【実験実習 1】(各自鶏卵胚から解剖および採血し,それを	た, 高校生に加え
10.10 12.03	基に性決定遺伝子を PCR で増幅する):生物生産学部実験室	て,高校生に混じ
12:05~13:00	【昼食】 (研究者,TA (大学院生・学生) および参加者と	って参加したい
	ともにお弁当:第一会議室	意欲のある中学
13:00~13:15	記念写真	生の参加(最大
	【研究者による講義】「動物の雌雄を観,遺伝子型を診て実感	10 名程度)も認
13:15~13:55	するために」(サイエンスを楽しむために;一部簡単な作業を	めております。
	含む): C206 講義室	参加者には特
14:00~15:40	【実験実習 2】 (約 5 名ずつの班毎に遺伝子を検査(電気泳動)	製ひら☆とき弁
	: 生物生産学部学生実験室にて	当と参加者に人
15:40~16:00	【休憩、クッキータイム,研究者・参加者のフリータイム】	気の高いクッキ
	TAと参加者約 5 名ずつの班毎に【実験結果とその考察を	ーはこちらで用
16:00~16:55	TAC参加有利 3 石 9 つの虹母に【天験相末とての考点を   まとめ】、プレゼンテーションの準備を整える	意しています。
	よこの』, / レビイ / マコイの宇囲を進んの	講座当日初め

16:55~17:45	各班の【プレゼンテーション(報告会)】	て会う、いろいろ
17:45~18:00	アンケートの記入、【修了式】「未来博士号」授与式	な高等学校のみ
18:00	【解散】	なさんとの出会
	<u> </u>	いと交流はひら
		めき☆ときめき
		サイエンスの楽
		しみの1つにな
		っています。
		10月28日(日)
		は、一日サイエン
		ス三昧、楽しみま
		しょう!

## 《お問合せ・お申込先》

所属·氏名:	所属・氏名: 広島大学生物生産学部・西堀正英			
住 所: 〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4				
TEL 番号: 082-424-7915 (学生支援・山本), 082-424-7992 (西堀)				
FAX番号:	X 番号: 082-424-7916			
E-mail:	nail: nishibo@hiroshima-u.ac.jp			
申込締切日:	平成30年10月18日(木)			

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、10月20日(土)までに 郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

※お申し込み時に可能であればメールアドレスもお知らせください。

## 《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究作	代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
西堀	正英	H29-31	基盤研究(B)	17H04637	・中央アジアにおけるウシ科、ラクダ科家畜
			(海外学術)		とその近縁種の遺伝資源学的調査研究
西堀	正英	H26-28	基盤研究(B)	26292139	・ゲノム情報に基づくニワトリ・ブタの家禽
			(一般)		化・家畜化起源探索と遺伝的分化の解明
西堀	正英	H26-27	挑戦的萌芽研究	26660212	・より簡便・迅速・正確な分子種判別法の構
					築
西堀	正英	H25-27	基盤研究(B)	25304038	・カザフスタンの在来家畜とその近縁野生種
			(海外学術)		の遺伝資源学的研究および放射線影響評価
西堀	正英	H22-24	基盤研究(C)	22580319	・ニワトリの国際スタンダード SNP マーカ
					ー作製およびその解析システムを構築する
西堀	正英	H18-19	萌芽研究	18658109	・cRNAを使ってゲノムインプリンティン
					グ遺伝子の発生ステージ特異的発現を解明
					する

西堀	正英	H16-17	基盤研究(C)	16580231	・キジ目鳥類におけるミトコンドリアゲノム
					構造とその進化学的および分子系統学的解
					析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック! <a href="http://kaken.nii.ac.jp/">http://kaken.nii.ac.jp/</a>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。